

国際研究集会派遣報告



2018 年度 国際研究集会(海外第 3 期)派遣会員報告書

AAPM 2018 参加報告

派遣国際研究集会：American Association of Physicists in Medicine(AAPM)
 開催場所：Nashville, USA
 開催期間：July 29-August 2, 2018

派遣員 長峰周治 九州大学病院

はじめに

2018年7月29日から8月2日の5日間、アメリカのナッシュビルで開催された American Association of Physicists in Medicine (AAPM) に、2018年度国際研究集会派遣会員として参加する機会を得たので報告する。

研究発表について

電子ポスターのセッションにて、“Image Quality Evaluation of Electronic Portal Imaging Using 2.5 MV X-Ray” のタイトルで発表を行い、2.5 MV-X 線を用いた電子ポータル画像の画質が、従来から使用されている 4 MV や 6 MV-X 線よりも優れていることを物理評価および視覚評価の両面から示した。電子ポスターのセッションでは、30分間電子ポスターが表示されたモニタの前で待機し、発表を聞きに来た人に対して説明を行うという形式であった。モニタはタッチパネルになっており、項目ごとにポスターを拡大することができ、説明する際に大変有用であった。

AAPM に参加して

今回初めての国際学会への参加であったが、演題数が非常に多く、世界中から演題が集まるため、大変貴重な経験となった。演者の英語を話すスピードが速いため、予備知識がないと発表を理解するのは困難であると感じた。英語で話す際も、日本語を瞬時に英語に変換し、自分が意図したとおりに英語で説明することが特に難しかった。自分の研究内容では予備知識があ

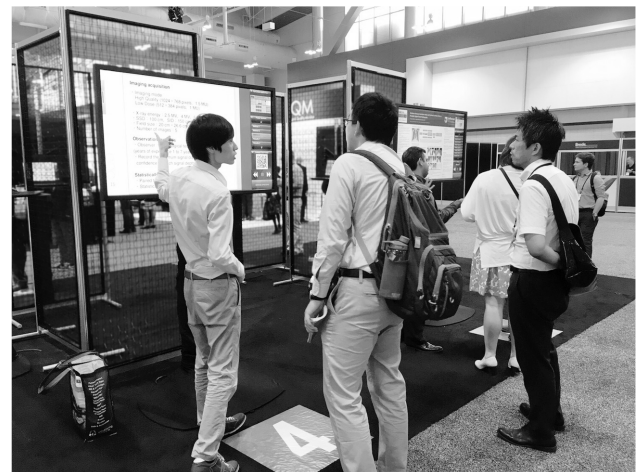


Photo モニタ前にて発表中の筆者

るので、何とか単語を聞いて文脈の意味を理解したり、瞬時にキーワードを話したりすることができたが、更なる英語力の向上の必要性和予備知識の重要性を痛感した。

機器展示では、最新機器の説明会や体験型のイベントが行われており、各メーカーの最新の動向や新製品の情報が得られた。研究発表やシンポジウムでは世界最先端の研究や医学物理の現状と課題点を聴くことができ、世界の動向を知るとともに知見を広げることができた。

謝辞

今回の AAPM2018 への参加にあたって、国際研究

集会派遣員として助成をいただきました。日本放射線技術学会の小倉明夫代表理事をはじめ国際戦略委員会の皆様、ならびに会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。また、国際学会への参加を快くご承諾いただきま

した。九州大学病院放射線部の加藤豊幸技師長、ならびに多大なるご協力をいただきました。放射線部の皆様に深く感謝申し上げます。助成金は渡航費用として使用しました。

ECMP 2018 に参加して

派遣国際研究集会：European Congress of Medical Physics (ECMP)
開催場所：Copenhagen, Denmark
開催期間：August 23-25, 2018

派遣員 中島絵梨華 茨城県立医療大学

はじめに

2018年8月23～25日の3日間、デンマークの首都コペンハーゲンで開催された第2回欧州医学物理学学会 (European Congress of Medical Physics: ECMP) に2018年度国際研究集会派遣会員として参加させていただく機会を得た。今回の研究発表の要旨および学会について報告する。

研究発表の要旨

私は“Dose Evaluation of Eye Lens for Pediatric Inner Ear X-ray Diagnosis”というタイトルでE-poster発表を行った。日本耳鼻咽喉科学会から出されている小児人工内耳適応基準が2014年に改訂され、人工内耳の適応年齢が引き下げられた。人工内耳は装着後の経過観察のため内耳の画像検査を実施することが多く、主にX線CTにより行われている。しかしX線CTは、観察部位以外への被ばくとして、水晶体への被ばくが問題となる。近年、トモシンセシスを用いた内耳撮影により診断に有用な画像の取得が可能となっている。本研究ではX線CTとトモシンセシス撮影の水晶体吸収線量を比較検討した。トモシンセシスのPA撮影では非検側の水晶体が撮影領域から外れ、X線CTと比較して検側の水晶体吸収線量が90%以上低減することが明らかになった。

学会の様子

ECMPは欧州医学物理組織連盟 (European Federation of Organisations for Medical Physics: EFOMP) により2年ごとに開催される。私は2年前に開催された第1回ECMPに続いての参加であった。機器展示メーカー数は32社と、多くの最新機器に触れることができた。また、乳房撮影に関する発表を聴き、ディジ

タルブレストトモシンセシスの線量評価の最近の動向を確認できた。更に比較的新しい乳房撮影のモダリティである乳房専用X線CTや位相コントラストマンモグラフィの、マンモグラフィとの被ばく線量の比較や画質の比較等の口述発表を聴いた。口述発表は発表者と聴衆との距離が非常に近く、意見交換が積極的に行われていた印象であった。

謝辞

ECMP 2018に2018年度(第3期)国際研究集会派遣会員として参加させていただく機会を与えてくださった日本放射線技術学会の代表理事をはじめ関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

また、研究発表にあたりご指導いただきました茨城県立医療大学の佐藤斉教授に深く感謝いたします。また長期出張させていただきました茨城県立医療大学および茨城県立医療大学附属病院の関係者の皆様に感謝いたします。

助成金は渡航費用として使用いたしました。



Photo 会場入り口にて